

Colorful

Vol. **29**～からふる～ 2011. 冬
2010年12月議会報告ミッチーの
ON/OFFブログ
更新中!!

発行責任者：小林 美智子

(事務所) 〒567-0828 茨木市舟木町13-11 TEL&FAX 072-638-9228

<http://www.kobamichi.net> Mail : info@kobamichi.net

小林みちこ

プロフィール

- ◆ 1967年生まれ。しし座のB型。
- ◆ 保育所の保護者会活動を通じて茨木市政に興味をもち、2005年の市議選に無所属でチャレンジし、初当選。4年間市民一人ひとりとのつながりを大切にしながら活動を続け、2009年1月の市議選で2期目にチャレンジ。2,222票をいただき、当選。現在2期目。
- ◆ 今期から会派「刷新市民フォーラム」に所属。
民生常任委員会委員。監査委員。
- ◆ 趣味：ジャズダンス
- ◆ 家族：夫と子どもの3人暮らし
- ◆ 好きなことば：思い立ったが吉日

2011年もよろしくお願いします。

いつも小林みちこの議会報告「**Colorful** ～からふる～」を読んでいただき、ありがとうございます。

今年も議会の情報をみなさんにお届けしていきます。

また、この議会報告をみなさんとのコミュニケーションツールとして活用したいと思っています。みなさんからのご意見をお待ちしています。

2011年は、4年に一度の統一地方選挙の年です。

茨木市は統一地方選挙からは外れていますが、大阪府内の多くの自治体では議員や首長の選挙が行われます。

大阪府や大阪市、名古屋市、そして鹿児島県の阿久根市など、去年は地方議会の話題や、議会と首長の関係などの話題が、マスコミにも多く取り上げられました。そんな中での統一地方選挙。これからの地方議会のあり方や、議会と首長との関係などが大きく問われるのではないのでしょうか。

茨木市議会では、昨年11月に議員全員が委員となり、「議会改革・活性化検討委員会」を発足、改革に向けて大きな一歩を踏み出しました。

「議会基本条例検討部会」「議会広報等検討部会」の2つの部会で、議会基本条例の制定や議会運営のあり方などを、2年間かけて議論・検討していきます。

議会基本条例は議会の憲法ともいえる条例で、2006年に北海道栗山町議会が全国で初めて制定しました。栗山町議会のHPには「栗山町議会基本条例は、いつの時代においても議会としての権能を十分に発揮し、その責任が果たされるよう、4年半に及ぶ議会改革・活性化の集大成として制定したもの」と、条例の提案理由が書かれています。

茨木市議会でも、市議会の憲法となる議会基本条例をこれから作っていきます。その過程に参加できることに、とてもワクワクしています。今年1年、茨木市議会のあり方について、しっかりと考え、議論をしていきたいと思っています。

今年もみなさんとの対話を大切に、「無所属・市民派」として活動していきます。どうぞよろしく願いいたします。

茨木市議会議員

小林 美智子



小林みちこの 12月 義会の質問です

保育所の入所申し込みは先着順ではなく、優先順位をつけるべき！

保育所入所申し込みの現状

◆ 一斉申し込みは優先順位をつける ◆

次年度の4月から保育所に入所するための申し込みは、期間を決めて受付をしています。この期間の申し込みのことを「一斉申し込み」と呼んでいます。
 茨木市では、昨年度まで1月に一斉申し込みを実施していましたが、今年度から1か月早めて12月に実施しました。このことにより、その後のスケジュールも早くなり、今までは3月に入所の可否を通知していたのが、2月中には通知できることとなります。
 一斉申し込み時には、保護者の就労の状況や家庭の状況などを判断し、保育の必要性が高い順から優先順位をつけ、入所決定をしています。

◆ 随時申し込みは先着順 ◆

一斉申し込み期間以外の申し込みのことを「随時申し込み」といいます。随時申し込みの時には優先順位をつけず、申し込んだ順番で受付をしています。



自治体によっては、随時申し込み時も優先順位をつけているところもありますが、茨木市ではこれまで約10年間「一斉申し込みは優先順位をつけて、随時申し込みは先着順」という方法をとってきました。

保育所の役割を考えると現状でよいのか？

◆ 保育所は児童福祉法に定められた施設 ◆

保育所は、共働き等の理由により家庭において保育ができない子どもに対し、個々の家庭に代わって保育する児童福祉法に基づく児童福祉施設です。
 したがって、幼稚園とは異なり、保育所の入所にあたっては、保護者が働いているなどの「保育に欠ける」認定を受けたうえで、市町村が子どもを保育する施設を決定する仕組みになっています。入所要件は児童福祉法や施行令に基づき、条例で定めることになっており、「母子家庭及び父子家庭については、優先的に取り扱うこと。」「虐待防止の観点から、保育の実施が必要な児童については、優先的に取り扱うこと。」などの国からの通知も出ています。

◆ 随時申し込みも優先順位を考えるべき！ ◆

茨木市の現状だと、「ひとり親家庭になった」「夫がリストラに遭い失業し、妻も働かねばならない」などの状況になった場合、一斉申し込み期間であれば優先順位が高くなりますが、年度途中であれば先着順となってしまいます。これでは「行政が支援しなければいけない家庭」を即座に救えない状況を生み出しているのではないのでしょうか？年度途中の申し込みで、先着順というのはある意味公平な

のかもしれませんが。

しかし、保育所が児童福祉法に基づく児童福祉施設であるならば、申し込む家庭の状況を考慮しない先着順には、福祉的な観点から見て問題があるのではないのでしょうか。



小林は、随時申し込みについても優先順位を考えるべき、との主旨で質問をしました。それに対し、前向きに検討するとの答弁でした。

優先順位の付け方は非常に難しい面があると思います。家庭の状況やその周りの状況、収入の状況なども見て、判断する場合も出てくると思います。ていねいな聞き取りや調査が必要になり、そのための人員配置も考えなければいけないと思います。
 現状の優先順位のあり方も含め、現場や市民の声、専門家の意見も聞きながら慎重に検討してほしいと思います。

茨木市の保育所の状況は…

【保育所定員数】

2008年	3,839
2009年	4,019
2010年	4,059



【待機児童数】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4.5歳児	合計
2008年	45	32	17	20	2	116
2009年	82	41	36	9	10	178
2010年	100	62	48	23	8	241

(いずれも10月現在)

定員数が増えても待機児童は増えています。

2010年10月現在で241人！

定員の弾力化や保育所の増築では追いつかない状況です。認可保育所を増やすことも考えないといけません…。

予防接種 3ワクチンへの助成



2010年11月26日に成立した国の補正予算に「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌」の3種ワクチンの接種を助成する市町村に、助成額の半分を国が補助する事業の関連予算1,085億円が盛り込まれました。厚生労働省によると、都道府県が基金をつくり、市町村の申請をもとに補助する仕組み。

2010年度中に開始し、2011年度末までの事業で、その後は未定です。

12月議会の民生常任委員会では、大阪府による説明会が開催される前ということもあり、茨木市の対応についてはこれから検討する、との答弁でした。

その後、大阪府による説明会が開催され、茨木市の対応についても固まり、1月26日に開催される臨時会に3ワクチンへの助成に関する予算が提案されます。臨時会でこの予算が通れば、3月から実施される予定です。全額補助ではなく、費用の一部は接種者に負担していただくことになると思います。

国が助成を決める以前から、独自に助成をしている自治体もあり、「茨木市でも助成してほしい」との声を市民の方からいただきました。

しかし、国が安全性や有効性についての結論を出していない中で、自治体独自で助成をすることは、慎重に考えるべきだと小林は訴えてきました。

今回、安全性や定期接種化に関しては、国の予防接種部会で安全性が認められ、将来定期接種となることが

見込まれるとのこと。また、国が助成を決めたことで全国的な事業となることから、茨木市だけが助成をしなければ、「接種機会の公平性」が損なわれる可能性もあり、今回の予算には賛成をするつもりです。

今回助成の対象となる3ワクチンは、現在は任意接種です。接種後の副作用は、重篤ではないものの事例が報告されています。また、子宮頸がん予防については、ワクチン接種だけでは十分ではなく、検診もあわせて受診することが大切です。接種をする際の材料として、これらの情報を、市がきちんと発信するべきだと考えます。



ワクチン接種対象

【子宮頸がん予防】

対象：中1～高1女子
回数：3回接種

【ヒブ】(回数は接種開始月齢・年齢による異なる)

対象：生後2ヶ月～4歳
回数：2ヶ月～6ヶ月で接種開始→3回+1回(1年後)合計4回
7ヶ月～11ヶ月で接種開始→2回+1回(1年後)合計3回
1歳～4歳で接種開始→1回

【小児用肺炎球菌】(回数は接種開始月齢・年齢による異なる)

対象：生後2ヶ月～4歳
回数：2ヶ月～6ヶ月で接種開始→3回+60日後に1回合計4回
7ヶ月～11ヶ月で接種開始→2回+60日後に1回合計3回
1歳～2歳未満で接種開始→1回+60日後に1回合計2回
2歳～4歳で接種開始→1回

※ヒブ、肺炎球菌は月齢が低いほど免疫がつきにくく接種回数が多くなる。

ヒブワクチン

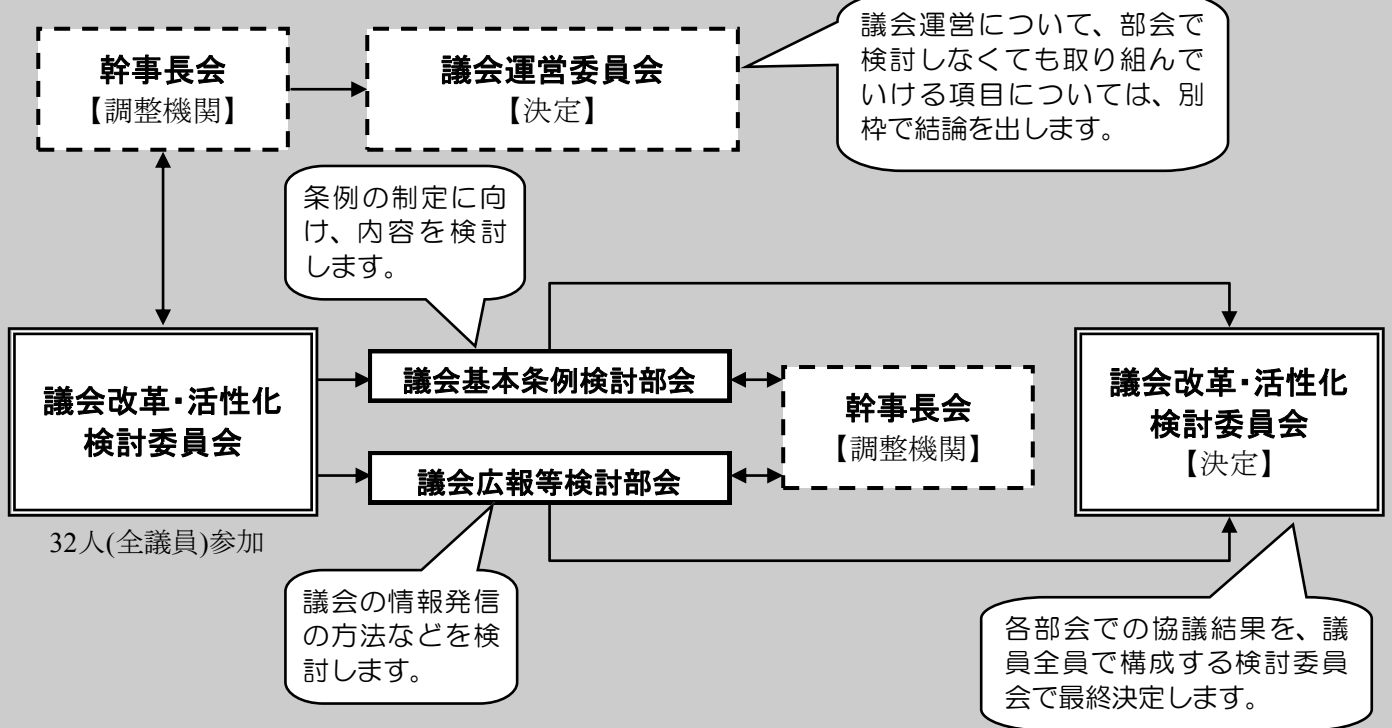
このワクチンは、インフルエンザ菌b型(冬に流行するインフルエンザとは違うものです)による髄膜炎および重症肺炎など、重篤な合併症を予防することを目的としています。海外では、この菌による髄膜炎を大きく減らしたという実績があり、ワクチンを規定通り接種すると、免疫はほぼ100%つくと考えられています。

茨木市議会の議会改革の動き

2010年11月、全議員が委員の「茨木市議会議会改革・活性化検討委員会」が立ち上がりました。あわせて「議会基本条例検討部会」「議会広報等検討部会」の2つの部会も発足し、茨木市議会の改革が始まりました。議会のルールを条例で定め、議会からの情報発信を充実していくことで、わかりやすい議会、見える議会をめざします！



【協議の流れ】



＜部会構成メンバー＞

◆議会基本条例検討部会

なまえ	会派名
坂口康博◎	公明党
小林美智子○	刷新市民フォーラム
福丸孝之	変えていく力
朝田充	日本共産党
滝ノ上万記	民主みらい
松本泰典	公明党
上田嘉夫	自由民主党・市民会議
田中総司	民主みらい
大谷敏子	自由民主党・市民会議

◆議会広報等検討部会

なまえ	会派名
上田光夫◎	自由民主党・市民会議
安孫子浩子○	民主みらい
大野幾子	変えていく力
畑中剛	日本共産党
下野巖	自由民主党・市民会議
青木順子	公明党
河本光宏	公明党
石井強	民主みらい
山本隆俊	刷新市民フォーラム

(敬称略) ◎…部会長 ○…副部会長

編集後記

☆前回の編集後記で「2010年の夏は100年に1度の猛暑で暑かった…」と書きました。猛暑の影響で、昨年夏の市役所の冷房費は予想以上にかかったそうです。その分、冬の暖房費を節約しないと年間の光熱費が予算内に収まらないそうで、窓口のある市役所の1～2階は暖房が入っていても、それ以外のフロアは暖房が入っていないことが…。室温が18度以下になると暖房を入れるとのことでしたが、室温と体感温度は違い、室温20度でも寒い…。寒い部屋でひざ掛けや毛布にくるまりながら仕事をしていることが多かった12月でした(泣)。